

第42回C-Bioセミナー

特異な生命現象に関わるキノコ由来の化合物たち

—スギヒラタケ急性脳症事件の化学的解明の試み，

そして，フェアリーリング（妖精の輪）の妖精の正体解明とその後の展開—

講師：河岸 洋和 教授

静岡大学 グリーン科学技術研究所

日時：2016年11月11日 10時～

場所：ゲノミクス研究棟2階セミナー室



本講演では、以下の2つの研究について紹介する。

1) スギヒラタケ急性脳症事件の化学的解明の試み

2004年秋に、スギヒラタケの摂取により、急性脳症が発生した。患者数は59名に達し、腎機能障害をもっていた17名が亡くなった。この事件は戦後最悪の食中毒事件とされているが、原因の解明は困難を極め、厚生労働省研究班は「原因不明」と結論した。しかし、この研究班の班員であった演者は現在も、この事件の物質レベルでの解明を試みている。本講演では、この研究の経緯と成果を紹介する。

2) フェアリーリング（妖精の輪）の妖精の正体解明とその後の展開

芝が輪状に周囲より繁茂し、後にキノコが発生する「フェアリーリング (fairy rings, 妖精の輪)」という現象がある。私たちは、フェアリーリングを引き起こすコムラサキシメジから、芝を繁茂させる物質群を発見した。これらの物質は試したあらゆる植物の成長を制御し、米や小麦のどの収量を大幅に増加させた。本講演では、この研究の経緯と最新の研究成果を紹介する。

問合せ：バイオサイエンス教育研究センター

Tel 028-649-5527

E-mail: c-bio@cc.utsunomiya-u.ac.jp